



いちご魂

第2号

2007年2月7日

発行 2007青年自治研集会実行委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-10-7

(日本自治体労働組合総連合内)

電話：03-5978-3580

fax：03-5978-3588

第四回実行委員会開催される

分科会基調報告続々

二月四日、自治労連会館（東京都文京区）において第四回青年自治研実行委員会が行われました。集会まで一か月を切り、各分科会の準備も急ピッチで進んでいます。



今回の会議では各分科会の基調報告が提出され、担当から内容の説明がありました。それぞれ渾身の「作品」が並んだ様子は壮観でした。（裏面に分科会の

詳細を掲載）
今後は更に内容の精査を行い、全体の基調報告等と合わせて報告集を作成していきます。



→ 出し物について何やら講習中の実行委員南さん（愛知）

なお、会議の後半では交流会の話が盛り上がり、定番の地方組織紹介に代わって分科会対抗でクイズに挑戦してもらったことになりました。実行委員会は出し物を準備しています。内容はまだ秘密。お楽しみに！

リレーメッセージ第二回 千葉県本部執行委員長

長平 弘

いま、青年労働者がもっているイキイキと仕事をし、自分の仕事に働きがいと誇りを、そして希望を見いだしたいという願いを、労働組合として実現させていく運動が求められていると痛感します。その意味で今度の青年自治研はタイムリーだし、これからの自治労連運動の前進にとっても大いに期待しています。この集いを契機に、『千葉で

ふさふさだった髪は、いまだに健在です。そうそう、出身単組は岡山県の高梁市職労です。連日ニュースや新聞の一面で、様々な方々に心配をいただいた自治体です。早急な対応で被害もいまのところ拡大をしていません。経済的な支援・精神的な支援が急がれています。

今回の自治研の開催地の京都に行くのは、楽しみです。遊ぶ」ですが、目標自給自足です。



いいんちよーのつぶやき



米を作り、野菜を作るそんな日々を過ごしています。まだまだ、若葉マークなので近所の農家の方々には非常にお世話なっています。美味しいです。自分で作ったお米を食べたり、採れたての野菜を食べるのは。京都は、京野菜が有名ですね。昨年は、見事に京野菜作りは、失敗してしまいました。今年こそは、リベンジを！「寝る」は、太陽の下に干したふかふかの布団で寝るのがたまりません。「遊ぶ」は・・・

も青年の皆さんが「グチも含めて仕事と地域を語り合える」ような場を企画してみようか」と青年部長と語り合っているところ。新入職員への「あなたが公務員を選んだ理由は」との問いに圧倒的な職員が「住民に役立つ仕事をしたから」との答えが返ってきます。県内の10代から20代の青年に「現在の仕事にやりがいを持ってますか」を質問したら56%の職員が「持っている」と答え、「持っていない」はわずか6%でした。また、仕事の「忙しさ、激しさ」「困難

さ、難しさ」などの理由で、なんと95%の青年が心身に疲労を感じると回答しています。20代では42%が自治体リストラによる雇用不安を訴えています。「住民と自分のためにいい仕事をした」「安心して働き続けられる職場を」の要求を私たち先輩がしっかり受け止め、青年の新鮮で豊かな感性で「こんな地域と自治体を」の運動に発展できればと期待します。



分科会の詳細についてお知らせします！！

分科会は、主に職種・仕事ごとに分かれています。
全国の仲間と自分の仕事について語り合いましょ～う！！



<p>第1分科会 教育</p>	<p>「今そこにある危機」 —教育行政における 課題と問題点</p>	<p>第5分科会 環境</p>	<p>環境行政は住民の暮ら しに直結している！</p>
<p>教育基本法改正、いじめ問題など教育現場のニュースが取り上げられる中、この分科会では「教育行政」に携わる職員の立場から、それぞれが直面している、またはこれからするであろう教育における「今そこにある危機」について考え討論する。</p> <p>対象部署：教育委員会、生涯学習部門、社会教育部門</p>		<p>アスベストや大気汚染などの問題を解決するためにはどのような視点が必要か、住民の暮らしに直結している環境行政に携わる職員の立場から、「安全で安心」な住民サービスの追及のために討論する。</p> <p>対象部署：清掃・環境・衛生部門</p>	
<p>第2分科会 保健・福祉</p>	<p>忘れちゃいけない。 保健福祉はみんなの 権利</p>	<p>第6分科会 事業・産業</p>	<p>わたしのまちの まちづくり</p>
<p>住民の健康保持は自治体の基本的責務である。 すべての人々の生命と健康で文化的な安心・安全の暮らしを守るために、自治体が果たすべき公衆衛生・保健事業のあり方について考える。</p> <p>対象部署：障害者・高齢者福祉部門 保健管理部門</p>		<p>自分の町の良いところ、悪いところを挙げて、違う地域の違う分野から見た「まちづくり」を聞き、これからの仕事の参考にすると共に、自治体が果たすべき「まちづくり」について考える。</p> <p>対象部署：都市計画・土木・産業・観光・農業・林業・上下水道部門</p>	
<p>第3分科会 病院</p>	<p>どうなるの？ 住民の命と健康</p>	<p>第7分科会 税財政・企画総務</p>	<p>「考えよう地方財政・ 税収と自治体の政策 企画」</p>
<p>今自治体病院の経営は、医師不足などにより厳しい状況に置かれている。この分科会では、安心して住民が生活するための自治体病院のあり方を、現場で働く職員の立場から考える。</p> <p>対象部署：病院部門</p>		<p>三位一体の改革が進められる中、地方財政を支える上で重要な役割を果たす地方税の課税・徴収について考える。また、自治体財政のあり方を考え、限られた財政の中で、自治体が果たすべき住民のための企画政策を考える。</p> <p>対象部署：課税・納税・財政・企画・総務部門</p>	
<p>第4分科会 保育・学童</p>	<p>親も保育士も 不安でいっぱい</p>	<p>第8分科会 窓口・住民生活</p>	<p>住民が接しやすい 窓口づくり</p>
<p>保育・学童職場で、子どもたちの成長を身近で感じることができることは幸せである。この分科会では、経験の浅い若手職員の苦労を共有し、公立の必要性がどのような点にあるか考える。</p> <p>対象部署：保育部門、児童・学童部門</p>		<p>役所の仕事では、実際に窓口に来る場合はもちろん、電話など住民と接する機会が多い。この分科会では、住民が接しやすい、理解してもらえるような窓口づくりや説明について考える。</p> <p>対象部署：住民記録・戸籍窓口職場、国保・年金関係職場</p>	

青年自治研集会は3月3・4日京都市内にて開催！！